

あ と が き

毎回この項を書くに当って反省の材料として先ず出てくるのは発行の遅れです。事実、今号も1カ月以上も遅れてしまいました。もちろん、他に反省しなければならないことや検討を要すること等が多々あるものの、それ以前の問題として定期的に発行することが当面の悩みの種です。定期発行を守ることよりも内容の充実を計ることが先決との御意見もあろうかと思いますが、ニュース誌である以上、やはり定まった周期で情報をお送りするのが肝要かと考えてます。これまで本誌は、巻頭言・資料・話題・お知らせと言った構成にするのがかなり以前より定着しており、編集係でも勢いこの形をできるだけ守ろうとするあまりその一部の原稿が欠けると充たされるまで発行を待つことになってしまいます。早く原稿をお送り下さった方には申訳なく思いつつ寝かしてしまうのが現状です。一口にニュースと言っても速報性を要するもの、速さよりも内容の正確さ・充実度を要するもの、機械的に流せばよいもの、広い層の方々に読んでいただけるために工夫を要するもの等とかなり広い範囲にわたっており、しかもこれらは相容れない要素を含んでいるのでいっそのこと2本立てにしたらと言ったことも編集係の間で議論してます。何かよい案がありましたら編集係までお寄せいただきたいと思います。

ところで、シグマ研究委員会の活動やその成果についてのPRが不足しているとの声をしばしば耳にします。それに答える一つの手立てとして次号より各ワーキンググループの活動状況について少しずつ紹介してゆきたいと考えています。

(浅見)

編集者 更田 豊治郎
浅見 哲夫
大竹 幸子